

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課 地域振興部 栗山行政センター

2. 指定管理施設概要

| | | | | |
|--------|--|-----------------|----------|------|
| 施設名 | 名称 | 日光市繁殖牛集中管理センター | | |
| | 所在地 | 日光市上栗山838番地7 | | |
| 指定管理者 | 名称 | 農事組合法人 栗山和牛改良組合 | | |
| | 代表者名 | 代表理事 山口 聖治 | | |
| | 住所 | 日光市上栗山838番地7 | | |
| 指定期間 | 令和2年4月1日 | ～ | 令和7年4月1日 | 5 年間 |
| 選定方法 | 非公募 | 評価実施年 | 5 年間のうち | 1 年目 |
| 施設設置目的 | 日光市繁殖牛集中管理センター条例(平成29年日光市条例第41号。)に定める施設で、繁殖牛の集中飼育管理及び肉用牛群の改良増殖を行うことで、栗山地区内の肉用牛の生産振興を図ることを目的としています。 | | | |
| 主な実施事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛及び子牛の飼養管理 ・繁殖牛への人工授精 ・繁殖牛の出産管理 ・子牛の登記に関する業務 ・肉用牛の生産振興に関する情報収集、調査研究に関する事業 | | | |

3. 利用状況(目標と実績)

| 成果指標 | 単位 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | |
|-----------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|
| | | 目標 | 実績 |
| a 繁殖牛預託頭数 | 頭 | 60 | 58 | | | | | | | | |
| b | | | | | | | | | | | |
| c | | | | | | | | | | | |
| d | | | | | | | | | | | |
| e | | | | | | | | | | | |

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

| 区分 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|------------|------------|---------|---------|---------|---------|
| 収入計 A | 16,153,920 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定管理料 | | | | | |
| 利用料収入 C | 13,944,000 | | | | |
| 自主事業収入 | 2,209,920 | | | | |
| その他 | | | | | |
| 支出計 B | 14,355,152 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定事業費 | 14,355,152 | | | | |
| 内人件費 D | | | | | |
| 内外部委託費 E | | | | | |
| 自主事業費 | | | | | |
| 事業収支 A-B | 1,798,768 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人件費率 D/B | 0.00% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! |
| 外部委託比率 E/B | 0.00% | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! |

※着色セルは、自動計算としている。

| | |
|------|--|
| 補足説明 | |
| | |
| | |

サービス改善の状況

| |
|-------|
| |
| |
| |
| |

5. 管理運営状況

| 評価項目 | | 評価基準 | 指定管理者 自己評価 | 施設所管課 評価 |
|-----------------|----------------|--|---------------|-------------|
| ① サービスの履行の確認 | 人員体制 | 事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。 | B | B |
| | 外部委託 | 外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。 | B | B |
| | 法令遵守等 | 法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。 | B | B |
| | 個人情報保護 | 個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。 | B | B |
| | 情報公開 | 情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。 | B | B |
| | 管理記録 | 業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。 | B | B |
| | 連絡調整 | 協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。 | B | B |
| | 緊急対応 | 事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。 | B | B |
| | 総括 | 「業務の実施体制」に関する評価【17項目】 | B | B |
| | 施設管理 | 協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。 | B | B |
| ② サービスの質の評価 | 利用者対応 | 利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。 | B | B |
| | 事業運営 | 事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。 | B | B |
| | 維持管理 | 仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。 | B | B |
| | 環境配慮 | 環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。 | B | B |
| | 広報活動 | 事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。 | B | B |
| | 苦情等対応 | 要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。 | B | B |
| | 利用者アンケート | 利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。 | B | B |
| | 利用状況 | 利用実績は、目標水準である。 | B | B |
| | 総括 | 「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】 | B | B |
| | 経理事務 | 専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。 | B | B |
| ③ 安定性 | 予算執行 | 収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。 | B | B |
| | 経費縮減 | 経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。 | B | B |
| | 収支状況 | 収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。 | B | B |
| | 総括 | 「経費の収支等」に関する評価【4項目】 | B | B |
| | 所見 (成果・課題等) | (指定管理者自己評価) 協定書に基づき計画通り事業を実施することが出来た。 繁殖牛の預託頭数が目標値に至らなかったが、子牛の受胎頭数が9頭増加し、販売頭数について7頭増加することができた。 (所管課評価) 預託頭数も増加し子牛の販売頭数も増え順調に運営できている。今後は後継者育成に取り組んでほしい。 | | |
| 前年度総合評価 | | B(良好) | 総合評価 | B(良好) |

※評価区分

評価基準 A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上

総合評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。

B(良好) = A、C以外

B(良好) = A、C以外

C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上

C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。